

血液検査の結果をみる上で 大事なこと。

商工会議所会員の皆様も日頃から健康診断や人間ドックで血液検査をされることと思われる。その結果を見て一喜一憂するだけでなく、今回はもう少し深く検査についてご理解を深めていただければと具体例を交えて紹介いたします。

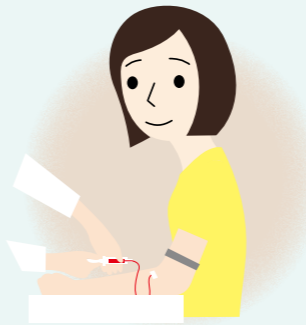
正常値と基準値

検査結果において「正常値」という言葉は実は通称で、皆様が目にする検査結果の用紙には「基準値」と記載されています。もともと基準値は多くの健康と思われる方の平均を示しているのみであり、実際には健康なのに基

準値を外れる方が5%程度いらっしゃるに過ぎません。その方々を「異常」とするには問題があるためこのように呼ぶこととなっていますが、とはいえ、基準内とは健康的な状態を示していると言えます。うです。

異なる基準値

これを聞くと驚かれるかと思いますが、その基準値は病院ごとで微妙に異なっています。検査室を自前で持つ大病院では特にそうで、なぜなら大病院では自動分析器で検査をしており、その機器や試薬は病院によって異なることが多く、同一検体で



も病院間で完全に同じ値が出るものが無いからです。そのためそれぞれの病院では基準試薬を用い独自に範囲を設定するのですが、それが微妙に異なっているのです。例を挙げると肝臓の検査であるALT(GPT)は20IU/ml台である施設がある一方、

40IU/mlを超える施設も見られます。

糖尿病診断のワナ

メタボで最近糖尿病予備群と言われ、食事も注意しているAさん。お近くのかかりつけでヘモグロビンA1C(HbA1C)を測定すると6.3%、努力の甲斐あって以前より下がっています。

よしよしと思いがながら3日後に市民病院へ人間ドックに行くと、なんと結果は6.6%！たった3日でそんなに悪くなったのか？とドック担当の先生に聞くと意外な答えが：糖尿病の診断に大事なHbA1Cは測定方法が大きく2種類あり基準試薬ではほぼ同じなのですが、実際はクリニックで多く採用されている方法で測られた結果が、0.1-0.2%程度低く出ることが多いようです。測定誤差も加味すると病院間で最大0.4%近く差が出ることもあり、一生懸命糖尿病の治療をされている患者さんにとっては一

大事です。

コレステロールの混乱

いまだき検査結果で最も気にされるのはコレステロールといっても過言ではありません。コレステロールが高いから食事に気をつけたり、サプリを注文したりetc.でもちよつと待って下さい。実はコレステロールが低い人は死亡率が高い！というデータもあるんです。もちろん癌や栄養失調の人はコレステロールが低めですが、コレステロールが低めでも心臓病は意外にあるんです。そのため人間ドック学会や検査医学会では、むしろコレステロールの基準値をやや高めに改訂しています。専門家の間でもこの問題はずつと議論が続けられています。

臨床では動脈硬化のリスクを考慮して治療の判断をするようにしています。特に高齢の女性で動脈硬化の要因がほぼ無い場合には、必ずしもコレステロール

の薬を飲む必要は無いのかもしれない。

最後に、最近では基準値や検査値の差は病院、メーカー間で合わせるようになってきていますが、本来の「正常値」は皆様ご自身の健康な時の結果が大事であるところをご理解いただければと思います。

今月の先生



岐阜市民病院
内木隆文 先生

- 役職
中央検査部長
臨床検査科部長
- 主な資格、認定
日本肝臓学会肝臓専門医・西部会評議員
日本消化器病学会専門医・東海支部評議員
日本内科学会総合内科専門医
- 卒業年、主な職歴
平成6年岐阜大学医学部卒
岐阜大学医学部消化器病態学助教